

2月19日

福者アルバロ・デ・コルドバ 司祭 記念

福者アルバロは、1368年ドミニコ会の修道服を受けたが、それはおそらく彼の青年時代であったと思われる。彼の説教は、イタリア聖地とともにスペイン中に渡って多くの実りをもたらし、その高い評判ゆえにカスティリアの摂政女王は彼を自分と若い息子ドン・ファン2世の聴罪師、助言者に任命したほどである。彼は宮廷で与えたその感化力を用いてカスティリアの忠誠な者たちをゆさぶって、対立教皇ペトロ・デ・ルーナから離反させ、正当に選ばれたマルティン5世に向かわせようとした。そうしてスペインにおいて西欧の分裂に終止符を打ったのである。

コルドバに近いスカラチェリ修道院の創立で最もよく記憶されている彼は、ここに退き厳しい公卿と観想の祈りに過ごした。

1430年2月19日帰天。

1741年、教皇ベネディクト14世により列福された。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）による改定版から